

自由記述（正職員・再任用職員）

問2 仕事のやりがいを感じるためには、何が必要だと思いますか。（その他の意見）

「自分が仕事をすることで、職員や市民の為に役立っていると実感できること。」

「自分の考え・意見を仕事に反映できること。」

以上のようなことが仕事のやりがいにつながるという意見がありました。

一方で、やりがいを持つために

「一部の人に仕事量が偏らず、みんなで業務に取り組む環境が必要。」という意見がありました。

問7 過度の精神的不安を感じている要因は何ですか。（その他の意見）

「担当割が機能していない。何をしているのかが分からない職員がいる。」

「複数の職員が育休を取得した場合、業務が回らなくなる。」

など仕事配分や、人員減少による仕事量の増加が精神的不安につながるという意見のほかに、

「自分の考え・意見を仕事に反映できない。」「休みがとれない。」

という意見もありました。

問9 どのようにすれば、過度の精神的不安は解消されると思いますか。

「担当割を決め、担当者がある程度責任をもって職務をする体制をつくる。」

「業務マニュアルの作成・継承。」「担当職員の意見を仕事に反映できる仕組みの導入」

などの職場における業務改善に向けた意見がありました。

また、「適切な人員配置」「職員の増加」といった人員に関する意見や、「必要な業務とそうではない業務を定期的に見直しする。」という業務内容に関する意見もありました。

問12 上司や先輩が部下や後輩に対して、どのように育成が行われていますか。

「相談に乗ってくれる。」「上司が仕事内容を細かく伝えてくれる。」

「研修への参加機会が多くある。」「適宜カリキュラムを作成している。」という意見がありました。

問14 育成が行われていないのは、なぜだと思いますか。（その他の意見）

「組織として積み上げてきたノウハウがなく、人事異動でゼロベースとなりがち」といった意見や、

「中間職が少なく、リーダーが不在。」という人員配置に関する意見がある一方で、指導する側として

「仕事の事で指導をすると、パワハラだと言われる。」という意見もありました。

問16 人材育成についての設問以外の意見・提案

「管理職に対して適切に業務遂行するため、部下からも評価をする体制も必要。」

「成果を認め、評価（査定）を適正に実施すべき。」

「人材育成システムは形骸化していて業務を増やすだけ。」

「人員が少なく、人材育成にまで手がまわらない。」
という意見がありました。

問19 自己の成長を実感したときはどのようなときですか。（その他の意見）

「上司や部下から信頼されたとき。」など職場内メンバーとの関わりの意見や、
「職務の進行が速くなる、結果を感じられたとき。」「業務を効率化できたとき。」
「新しい業務を完遂させたとき。」
といった意見が多くあった一方で、
「成長機会を感じることはなく、焦りばかりが募る日々であった。」という意見もありました。

問24 昇任のしくみで重視すべき点は何だと思いますか。（その他の意見）

「能力・実績の評価と本人の希望によるべき。」「本人のやる気。」
「人間性、人権意識、部下等からの信頼性などを重視すべき。」
「能力評価と本人の希望の両方を重視すべき。」
といった能力の評価と合わせて、上司や部下からの評価や本人の希望を重視すべきという意見も多くありました。

問27 昇任したいと思わない理由は何ですか。（その他の意見）

「管理職に昇任することによりワークライフバランスを保てなくなる。」
「現在の役職の職務が自分には適しているように思う。」
「責任が増えるにも関わらず、給与が上がらないため全く魅力を感じない。」
という意見がありました。

問34 休憩・休息など「ホッ」とするためには、どのような場所があればよいと思いますか。

「市民から見えない休憩場所の確保。」「個室があれば良い。」
「自席で仕事して、自席で昼食も取るのに、ホッとできるはずがない。」
という、自席や執務室以外で休憩場所を求める意見が多くを占めました。
一方で、「コロナ禍なので現状で仕方がない。」という意見もありました。

問43 すべての設問以外の事項を含めた意見・提案

「各課の時間外勤務の現状把握と削減の具体策を全庁的に検討し、働きやすい職場を作る必要があると思う。」
「今年度は年度初めから人員の配置に著しい偏りがあり、休みがほとんど取れない職場もあれば、休みがとれる職場もあった。」
「中間職を増やし、業務をまたがって、総括していく存在が必要。」
という人員配置や職場環境の改善などを求める意見から、
「このアンケートが改善につながっていないと感じていると推察する。アンケート結果をもって、何をどう取り組んでいくのかきちんと示してほしい。」

といったアンケートに関する意見もありました。